

## コンビ ベビーカー auto N second オンライン取扱説明書

### 品質保証書付

ご使用前に必ずこのオンライン取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。

※本説明書はEN基準に適合した内容の説明書です。



製品のイラストはイメージです。  
タイプにより仕様が異なる可能性があります。  
製品の仕様は、改善などのため、予告なしに変更することがあります。

### もくじ

#### はじめに

ご使用前に .....	1
安全にご使用いただくために .....	1
各部のなまえ .....	5

#### ベビーカーの使いかた

ベビーカーの開きかた .....	6
ストッパーの使いかた .....	7
フロントガードの使いかた .....	7
幌の使いかた .....	8
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた .....	9
シートベルトの締めかた、はずしかた .....	9
シートベルトの調節のしかた .....	10
リクライニングの使いかた .....	11
折りたたみかた .....	12
持ち運びかた .....	13
部品の取り付けかた .....	14
インナーシートの取り付けかた .....	14
肩ベルトカバー・股ベルトカバーの取り付けかた .....	15

#### お手入れ方法

縫製品の洗濯について .....	16
車体の清掃について .....	17
注油について .....	17
保管のしかた .....	17

#### その他

点検とアフターサービスについて .....	18
ベビーカーの『標準使用期間』について .....	18
廃棄方法について .....	18

## ご使用の前に

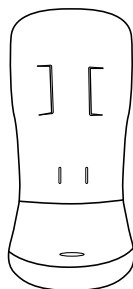
- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 使用できるお子さまの月齢：生後6ヵ月以上48ヵ月ころまで  
（6ヵ月未満のお子さまには使用できません。/お子さまの体重の目安22kg以下）

開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

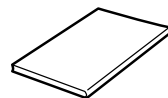
箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。



ベビーカー 本体



インナーシート



クイックスタートガイド

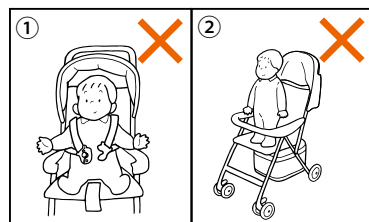
## 安全にご使用いただくために

表示	表示の内容
⚠️警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠️注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
✖️	禁止行為であることを告げるものです。

⚠️警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

- 必ずシートベルトを締め、正しく着用してください。左右のタンクを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。(①)
- お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。(②)

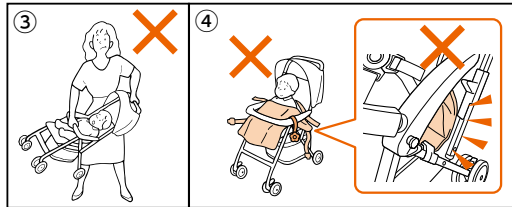




取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

### お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。(③)
- ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。
- ベビーカーの開閉時、ベビーカーのシートやシートベルト、ブランケット、おもちゃなどをベビーカー本体にはさみ込まないように十分注意してください。(④)



### ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。(⑤)
- 排水溝のふた(グレーチング)や踏切、路面の溝など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。十分注意して進んでください。(⑥)
- 車輪が溝にはさまったときは、はさまった方のフレーム(パイプ)とハンドルを持って、車輪を引き上げてください。その際、お子さまや荷物に乗っている状態では、ベビーカー全体を持ち上げないでください。(⑦)
- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外のところに乗せないでください。(⑧)
- 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でもいったん止まり、後脚ステッパーのステップに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。(⑨)
- お子さまを乗せ降ろす際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。
- ホームと電車との段差やすき間に車輪がはさまったり、引っかかったりしてベビーカーが転倒するおそれがあります。電車から降りる際は、使用者が先に降りると電車とホームのすき間を確認しやすくなります。十分注意して乗降してください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- この製品はランニングやスケートに適していません。

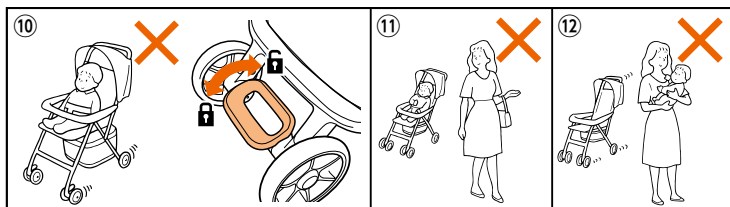




取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

### ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。

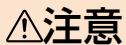
- 停止中は必ずストッパーをかけてください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。(10)
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。(11)
- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。(12)



### お子さまが指や手をはさんだり、ケガをするおそれがあります。

- お子さま自身での乗り降りは、転倒や指はさみなどの危険がありますのでおやめください。(13)
- 部品、同梱品、オプションは純正品のみを使用し、当社指定の製品または部品以外は使用しないでください。非純正部品の取り付けによりベビーカーのバランスが崩れて転倒するなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時、幌の開閉など、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 小さな部品は窒息の危険があるため、必ずお子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 窒息の危険を防ぐため、ビニール袋はすぐにお捨てください。
- ベビーカーを火気、高温、プール、または電源の近くに置かないでください。
- 肩ベルトのあまりはベルトカバーに収納してください。お子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- バックルの磁石がペースメーカーの作動に影響をおよぼすおそれがあります。ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
- バックルを止める際はお子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。
- バックルの磁石に異物が付着するおそれがあります。使用前に異物の付着がないことを確認してください。
- 磁気による損傷を受けやすいものは近づけないでください。(磁気カード、腕時計、電子機器など)
- 6ヵ月未満のお子さまには使用できません。
- フロントガードのご使用状況にかかわらず、お子さまを乗せるときには、必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは、お子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンの操作は保護者が行い、お子さまには操作させないでください。
- ベビーカーを開いた状態でフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。
- お子さまを乗せた状態ではフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれお子さまがケガをする可能性があります。

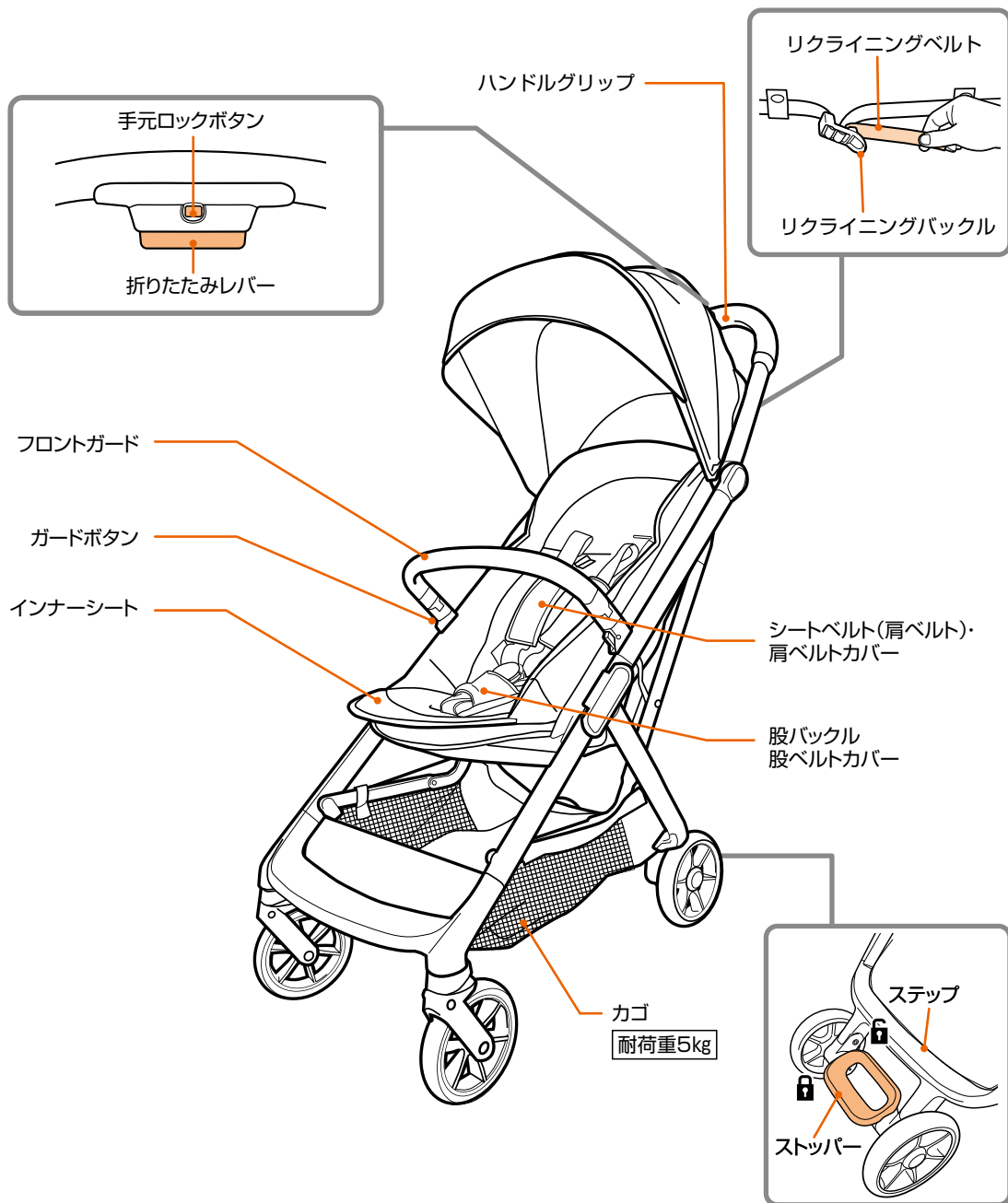




## 注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャストの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いとき、雷のときは使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- ベビーカーを保管するときは横向きにせず、上に荷物などを重ねないでください。また、ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止  
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- 鉄道やバスの中での使用について  
本製品は、鉄道やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を鉄道やバスの中で使用するときは、カーブやブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、お子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、十分注意してご使用ください。また、事前に各鉄道、バス事業者が示すベビーカー利用の可否、方法をご確認ください。ご利用条件を満たさないときは、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、鉄道やバスの中でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。
- 坂道の走行では、不安定なため転倒するおそれがあります。速度を落とし、十分注意して走行してください。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- カゴには鋭利な物や大きすぎる物を入れないでください。カゴが損傷するおそれがあります。
- カゴに耐荷重以上の荷物はのせないでください。破損の原因になります。
- 定期的に車体の清掃・点検をしてください。使用時に異常を感じたときや、日常点検で異常を発見した際はすぐに使用を中止してください。
- フローリングなど柔らかい床でベビーカーを開閉すると、床を傷つけるおそれがありますのでおやめください。
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用しないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードを片側だけはずした状態で保管しないでください。フロントガード本体の変形や破損の原因となります。

# 各部のなまえ



# ベビーカーの開きかた

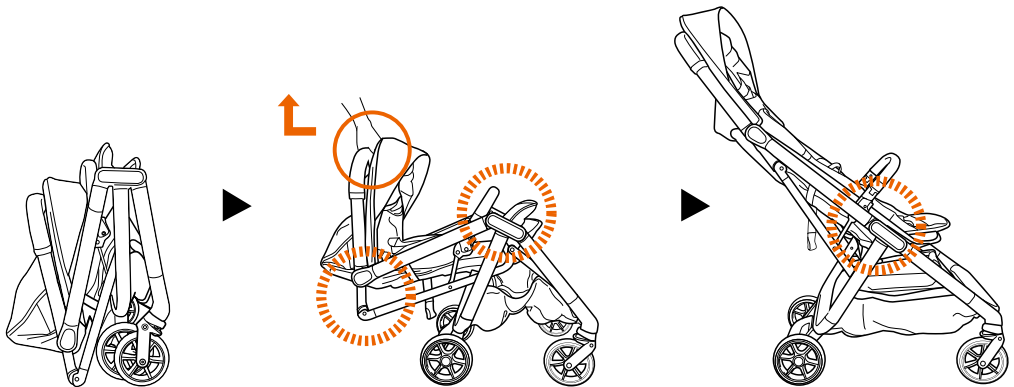
## ⚠ 警告

- ベビーカーを開くときには、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時、幌の開閉など、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 丸枠の点線部分にお子さまの手や足をはさまないようにしてください。

## ⚠ 注意

お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを後方に持ち上げ、「カチッ」と音がするまで、ベビーカーを開く。  
ハンドルを上下に振り、ベビーカーが完全に開き、ロックがかかっていることを確認する。



ワンポイント



車輪を地面につけた状態からハンドルを持ち上げてください。

## ストッパーの使いかた

- ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

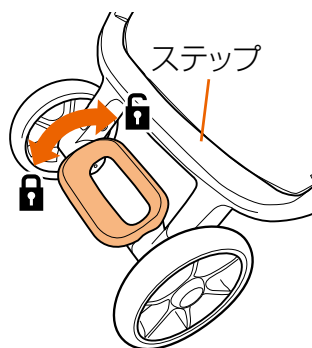
### ⚠ 警告

- 停止中は必ずストッパーをかけてください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

### ⚠ 注意

- 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ずストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

- ①前方に足で踏みロックを解除する。  
ロックする場合は後方にストッパーを戻す。
- ②ストッパーのロックをかけた際は、ベビーカーを軽く前後に動かして、車輪が動かないことを確認する。



## フロントガードの使いかた

### ⚠ 警告

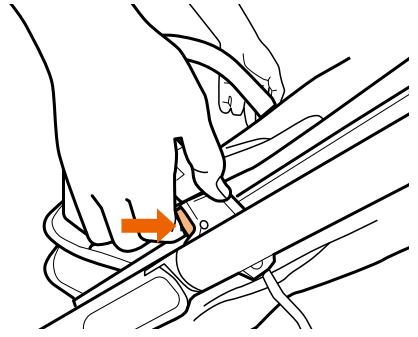
- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ベビーカーを開いた状態でフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。
- お子さまを乗せた状態ではフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれお子さまがケガをする可能性があります。

### ⚠ 注意

- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードを取り付けるときは誤った取り付けをしないように注意してください。
- 取り付けの際に指や衣服をはさまないようにしてください。

### フロントガードをはずすとき

左右のガードボタンを押しながらフロントガードをまっすぐ手前に引き抜く。



### フロントガードを取り付けるとき

- ① 差し込み穴にフロントガードを「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ② フロントガードを引っばって、はずれないことを確認する。

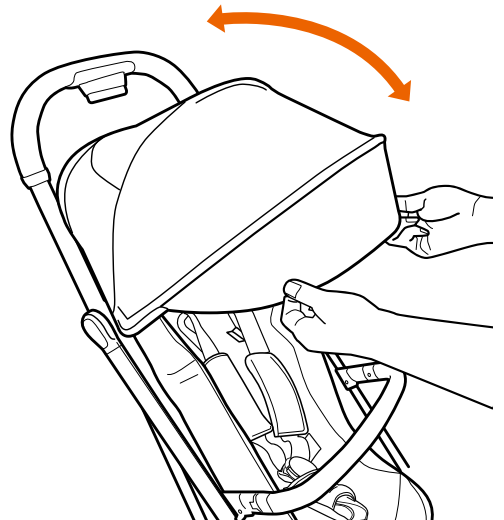
## 幌の使いかた

### ⚠ 警告

幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

### 幌のサイズを変える

幌フレームを持ち、前方、または後方にまとめる。



# シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

## ⚠ 警告

- 必ずシートベルトを締め、正しく着用してください。左右のタングを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調節してください。
- 左右のタングを合わせる際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

## ベルトの位置について

インナーシートの使用有無に関わらず、肩ベルトの高さがお子さまの肩付近の位置になるように調節して使用してください。

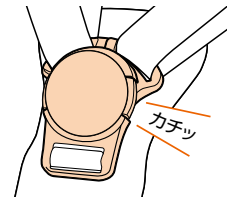
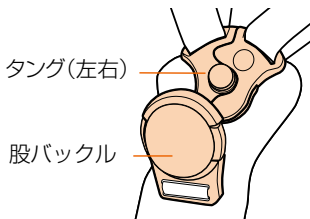


## シートベルトの締めかた、はずしかた

### 締めかた

- ① お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの腕を左右のシートベルトに通す。
- ② ③ で組み合わせたタングの上に、股バックルを重ね、「カチッ」と音がすることを確認する。

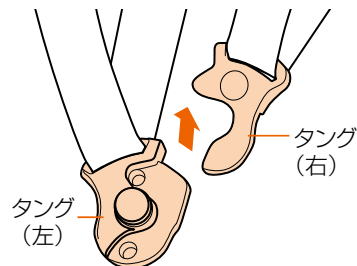
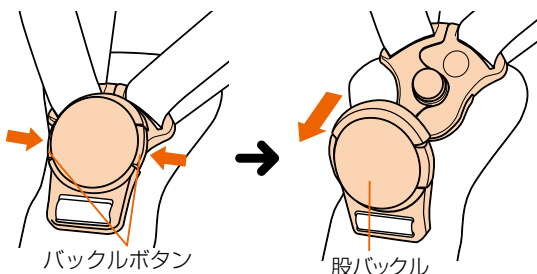
- ② 左右のタングを組み合わせる。



- ④ タングと股バックルを引っばってはずれないことを確認する。

### シートベルトをはずすとき

- ① 両脇のバックルボタンを同時に押し、股バックルを上にはずす。
- ② タングを前後にはずす。



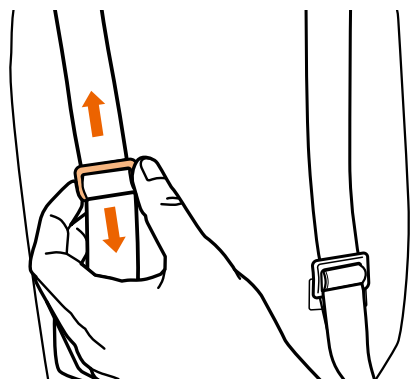
## シートベルトの調節のしかた

### ⚠ 警告

- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調節してください。
- 肩ベルトのあまりはベルトカバーに収納してください。
- 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。使用中に肩・腰ベルトが抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。取り付け後、肩・腰ベルトを強く引っ張り、それぞれのラダーから抜けないことを確認してください。

### 肩ベルトの高さを調節するとき

ラダーを上下に動かし、高さを調節する。



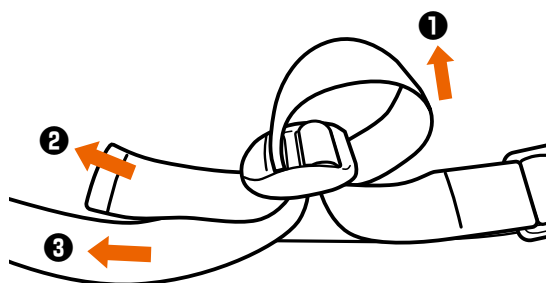
### 肩ベルトの長さを調節するとき

【締めるとき】

ベルトを①の方向に上げ、  
②の方向へ引く。

【ゆるめるとき】

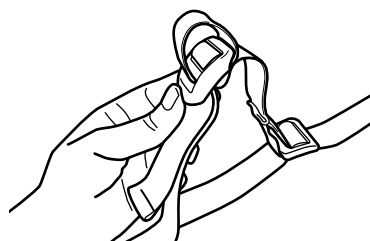
ベルトを①の方向に上げ、  
③の方向へ引く。



ワンポイント



- ベルトの調節の目安がわからない。  
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。
- 肩ベルトカバーに肩ベルトラダーが覆われているときは、肩ベルトカバーをずらしてから調節してください。
- ラダーを図のように立ち上げるとベルトを引きやすくなります。



## 股ベルトの長さを調節するとき

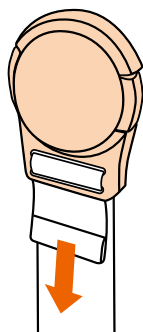
### 【締めるとき】

ベルト先端を矢印の方向に引く。

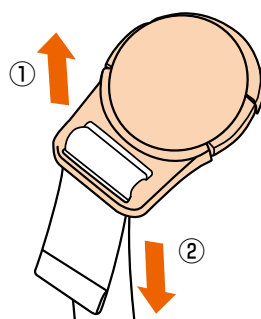
### 【ゆるめるとき】

股バックルを矢印①の方向に引き上げながら、股バックル裏側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

### 【締めるとき】



### 【ゆるめるとき】



### ⚠ 注意

股ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調整してください。使用中に股バックルが抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。

## リクライニングの使いかた

### ⚠ 警告

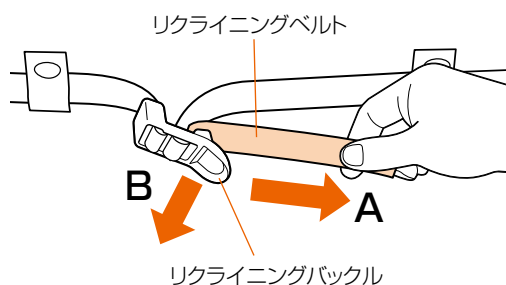
- リクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトを緩めてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

### ⚠ 注意

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。

## 背もたれの起こしかた

お子さまの体重がかかっていない状態でリクライニングベルトをAの方向に引き、背もたれを起こす。



## 背もたれの倒しかた

リクライニングバックルをBの方向へと手前に動かし、リクライニングベルトをゆるめて背もたれを倒す。

## 折りたたみかた

●折りたたむときは、必ず幌を後方にたたんでまとめてください。

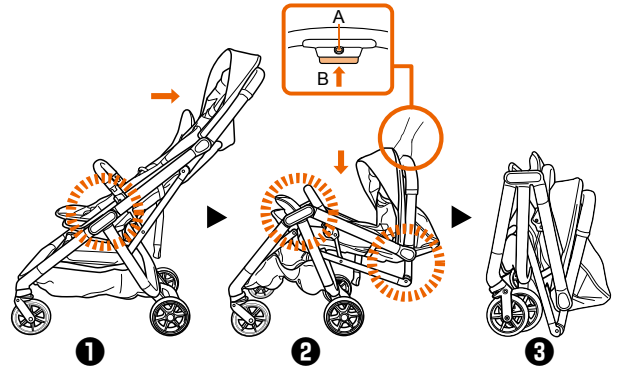
### ⚠ 警告

- ベビーカーを開閉するときには、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。また、操作する際、折りたたみ機構部分にはお手を触れないようにしてください。
- 丸枠の点線部分にお子さまの手や足をはさまないようにしてください。

### ⚠ 注意

- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、1度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 車のトランクなどに入れて外出する場合は、幌に負荷がかからないようにしてください。変形や破損の原因となります。

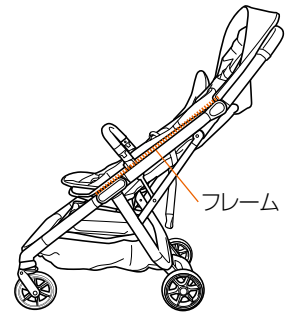
- ① 幌を後方にまとめる。
- ② 手元ロックボタン (A) を押しなが  
ら、折りたたみレバー (B) を  
押し、手をはなす。
- ③ ベビーカーが自動的に折りたた  
まれる。



ワンポイント



- シート角度をフレームより起こすと折りたたみにくくなる場合があります。
- シートがたたまれないときは背もたれを最も倒してからたたんでください。



## 持ち運びかた

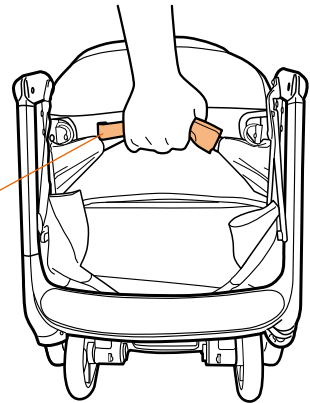
図のようにグリップカバー部分を握り、  
持ち運ぶ。

ワンポイント



- フロントガード・グリップに過度の力を加えないでください。

グリップカバー



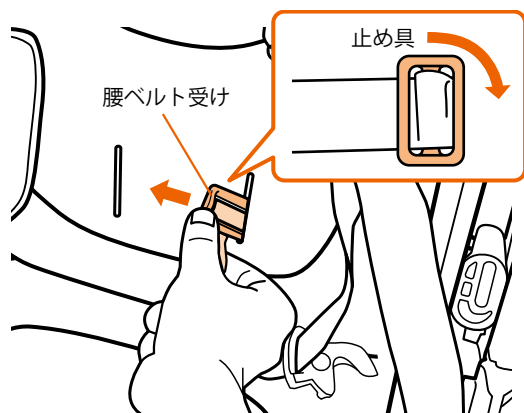
### ⚠ 注意

- 持ち運ぶ際は必ずこの部分を持ってください。
- フロントガード・グリップに過度の力を加えないでください。故障や破損の原因となります。
- 持ち運ぶ目的以外で使用しないでください。
- 指示した部分以外を使って持ち運ばないでください。車体が開くおそれがあります。
- 持ち運ぶ際、車体に衣服等が引っかかるおそれがあります。

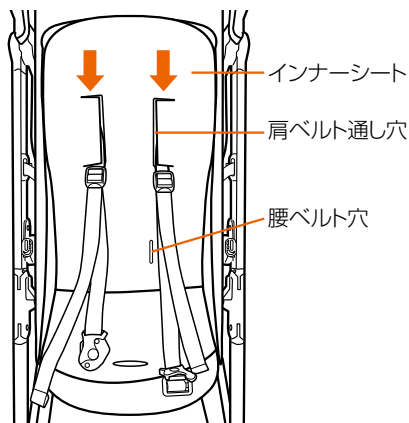
# 部品の取り付けかた

## インナーシートの取り付けかた

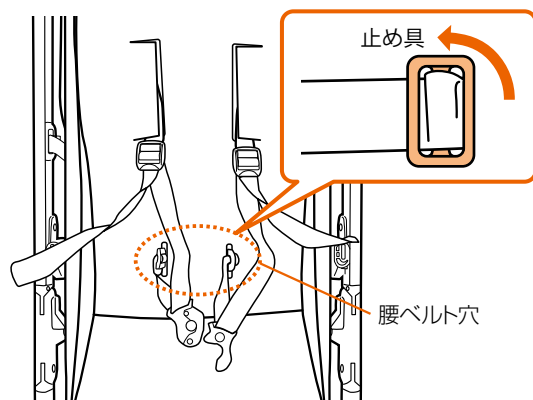
- ① ベースシートの裏側から腰ベルトの止め具をたてにまわし、腰ベルト受けから左右のベルトを引き抜く。



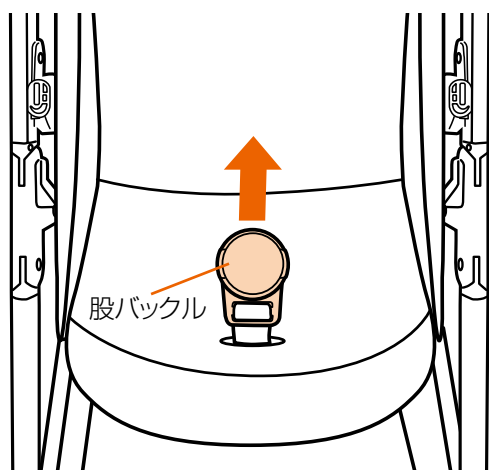
- ② インナーシートをベビーカーに乗せ、左右のベルトをインナーシートの肩ベルト通し穴に通す。



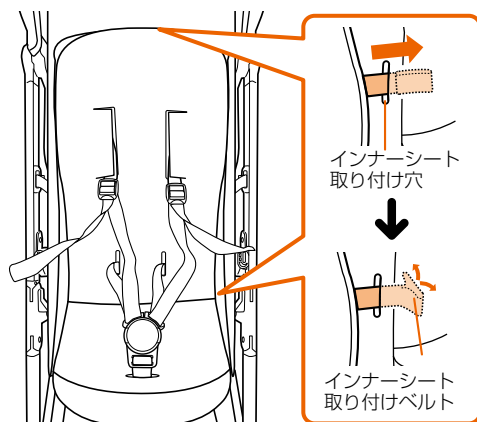
- ③ インナーシートの腰ベルト穴とベースシートの腰ベルト受けに左右の止め具をたてに回し通し、ベースシートの裏側へ引き出し、腰ベルトが抜けないことを確認する。



- ④ インナーシートに股バックルを通す。



- ⑤ ベースシートのインナーシート取り付け穴にインナーシート取り付けベルトを通す。



## 肩ベルトカバー・股ベルトカバーの取り付けかた

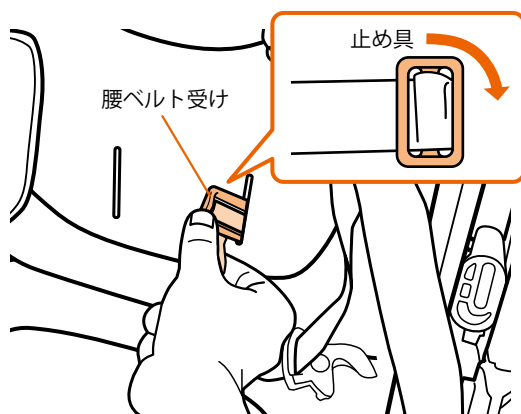
### ⚠ 警告

- 肩ベルトのあまりはベルトカバーに収納してください。

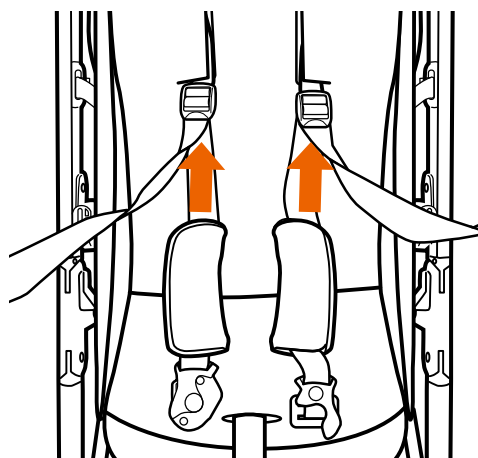
### ⚠ 注意

- 肩ベルトカバーと股ベルトカバーがずれ落ちて、紛失する可能性があります。
- 肩ベルトカバー内部のホックをつけてご使用ください。
- 股ベルトカバー内部のゴムベルトを股ベルトに通してご使用ください。

- ① ベースシートの裏側から腰ベルトの止め具をたてにまわし、腰ベルト受けから左右のベルトを引き抜く。



- ② 左右のベルトに肩ベルトカバーを通す。



- ③ 左右の肩ベルトカバー内部のホックと肩ベルトについているホックを取り付ける。

- ④ インナーシートの腰ベルト穴とベースシートの腰ベルト受けに左右の止め具をたてに回し通し、ベースシートの裏側へ引き出し、腰ベルトが抜けないことを確認する。

## 股ベルトカバーの取り付けかた

股ベルトカバー内部のゴムベルトに股ベルトを通しながら、股ベルトに股ベルトカバーを通す。

# 縫製品の洗濯について

※幌のプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。




※製品の特性上、若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。

※保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

洗濯時は次のことを守ってください。

## 洗濯上の注意

	液温は40°Cを限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウェットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

### ● インナーシート、肩ベルトカバー、股ベルトカバー、グリップカバーの洗濯

- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 洗濯機をご使用のときは、洗濯用ネットに入れてください。ほつれや傷みの原因となります。
- きついもみ洗いはしないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。  
また、つけ置き洗いを避けてください。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

### ● 幌、カゴ、シートベルト（股ベルト・腰ベルト・肩ベルト）のお手入れ

- 幌、カゴ、ベルト類は液中につけず、水、またはぬるま湯の洗剤を付けたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

## 車体の清掃について

### ⚠ 注意

車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

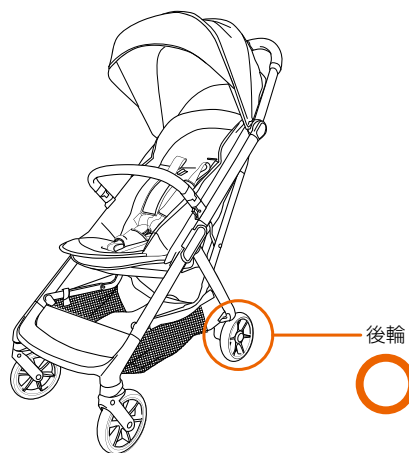
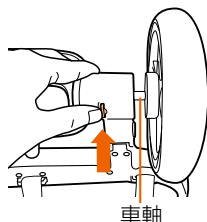
- バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。
- 車輪やプラスチック部品および金属部品、バックル類、ハンドルグリップ、フロントガードの汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ってください。

## 注油について

### ⚠ 注意

お子さまがなめる可能性の高いフロントガードなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右図に示す部分以外には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。
- 注油するときは、図のようにボタンを押して後輪をはずし、車軸に注油してください。
- 後輪をベビーカー本体に差し込み、車輪を引っぱり取れないかを確認してください。

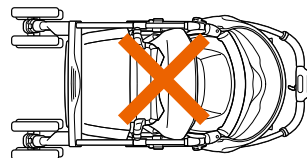


## 保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

### ⚠ 注意

- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を下にしてください。
- 横向きに寝かせて保管をすると、故障や変形の原因となります。



## 点検とアフターサービスについて

- ご使用前に、締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか点検してください。
- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみ、タイヤの摩耗、シートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。  
そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。  
お問い合わせの際は、車体後側から見て右のパイプに貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売は、原則として製品の製造中止から3年後までとなります。この期間内でも該当部品の在庫がなくなった場合、対応できないことがあります。また、色や仕様が若干異なる部品で対応させていただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

### コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271  
TEL. (048) 797-1000  
FAX. (048) 798-6109

### コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16  
TEL. (06) 6942-0379  
FAX. (06) 6942-0302

## ベビーカーの『標準使用期間』について

ベビーカーの『標準使用期間』は「新規購入後5年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

## 廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。